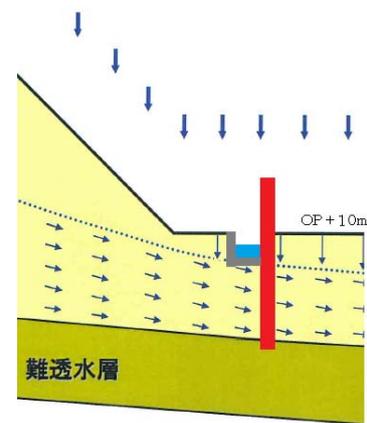


[様式 2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤地下水流入抑制の敷地管理
御提案件名	地下連壁工法による地下水遮蔽壁
御提案者	株式会社奥州基礎工業

1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)

下図に示すように、OP + 10 m 地点山側に地下水層の下部以下まで届くコンクリート管を設置 (ESP 工法) することにより堅牢な遮水壁を作り、原子炉エリアへの地下水流入を遮断する。ESP 管連続壁施工後、連続壁直近の山側において地下水迂回のための水路確保工事 (ドレーン及び水路) を施工する。



ESP 工法は砂質地盤、粘土地盤での施工が容易な基礎杭設置工法 (埋設杭) の一種である。特徴としては、工期が短く (連続壁工事 5 ヶ月、水路除く)、発生残土も少ない。また打込みをしないため騒音、振動が小さい。

2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)

- ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)
 - ① 仙台空港隣接地における施工 (実証実験、2012 年月)
 - ② ②前記①の水平載荷試験 (2013 年月)
- ・開発・実用化に向けた課題・留意点

特になし
- ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)
 - ① H24 年 8 月 <国土交通省新技術登録 (NETIS 登録) > TH-120017-A
 - ② H25 年 4 月 <特許> 壁工法及びこれに用いる中空杭 第 5238092 号